

アゾキシストロビン (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：アゾキシストロビン [Azoxystrobin (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤

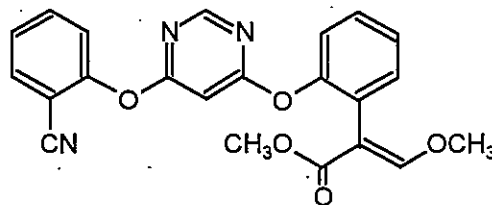
ストロビルリン系殺菌剤である。エネルギー生成に重要な役割を果たしているミトコンドリアの電子伝達系の中のコハク酸-コエンザイムQリダクターゼ間の電子伝達を阻害することにより作用すると考えられている。

(3) 化学名

Methyl (*E*)-2-{2-[6-(2-cyanophenoxy)pyrimidin-4-yloxy]phenyl}-3-methoxyacrylate (IUPAC)

Methyl (*E*)-2-[[6-(2-cyanophenoxy)-4-pyrimidinyl]oxy]- α -(methoxymethylene)benzeneacetate (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{22}H_{17}N_3O_5$
分子量	403.4
水溶解度	6.0 mg/L (20°C)
分配係数	$\log_{10} P_{ow} = 2.5$ (20°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

【作物名】となっているものについては、今回農薬取締法(昭和23年法律第82号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 20.0%アゾキシストロビンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	アゾキシスト ロビンを含む 農薬の総使用 回数
小麦	紅色雪腐病	原液	4~8mL/乾 燥種子1kg	は種前	1回	種子吹き付 け処理	4回以内 (種子への処 理は1回以 内、は種後は 3回以内)
	株腐病		8mL/乾燥 種子1kg			塗沫処理	
	うどんこ病 赤さび病	2000~ 3000倍	100~ 200L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	
だいず	紫斑病	16~24 倍	100~ 300L/10a		2回以内	無人ヘリコ プターによ る散布	2回以内
	腐敗粒 べと病	2000倍	800mL/10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
きゅうり	うどんこ病 べと病	1500~ 2000倍					
	灰色かび病 菌核病 褐斑病 炭疽病	1500倍					
にがうり	うどんこ病 べと病 炭疽病	2000倍	100~ 300L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 べと病 炭疽病	1500~ 2000倍					
メロン	うどんこ病 つる枯病 べと病	2000倍	100~ 300L/10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
すいか	つる枯病 炭疽病						
トマト	葉かび病 灰色かび病						
なす	うどんこ病 すすかび病						
葉たまねぎ	灰色腐敗病 べと病			収穫3日 前まで	3回以内	3回以内	
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病			収穫前日 まで	4回以内	4回以内	
ねぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病 葉枯病			収穫3日 前まで			

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	アゾキシス トロピンを 含む農薬の 総使用回数			
わけぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫7日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内			
あさつき				収穫3日 前まで						
にら	白斑葉枯病			収穫14日 前まで	2 回以内			4 回以内	2 回以内	
にら(花茎)				収穫前日 まで						
しゅんぎく	炭疽病			2000～ 3000 倍	3 回以内				3 回以内	3 回以内
にんにく	さび病 葉枯病 べと病 黒斑病 白さび病									
はくさい	白斑病									
レタス	菌核病 灰色かび病 べと病 すそ枯病	2000 倍	3L/m ²	収穫7日 前まで	2 回以内	土壌灌注	4 回以内 (土壌灌注 は2回以内)			
	ビッグベイン病			収穫30日 前まで						
非結球レタス	菌核病 灰色かび病 べと病	1500～ 2000 倍	100～ 300L/10a	収穫7日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内			
キャベツ	菌核病 株腐病									
いちご	うどんこ病	1500～ 2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	苗床： 4 回以内	散布	7 回以内 (苗床では 4 回以内、本 圃では3回 以内)			
	炭疽病	2000 倍								
	灰色かび病	1500 倍			本圃： 3 回以内					
	うどんこ病	1500～ 2000 倍								
	炭疽病	2000 倍								
	灰色かび病	1500 倍								
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000 倍	100～ 300L/10a	4 回以内	4 回以内	4 回以内				
ブロッコリー	べと病						収穫3日 前まで	3 回以内	3 回以内	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数		
てんさい	葉腐病 褐斑病	1500倍	100～ 300L/10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回 以内、散布は 3回以内)		
	根腐病	1500～ 4000倍							
		500倍	ペーパー ポット1 冊当り1L (3L/m ²)	定植前	1回	苗床灌注			
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌 による) もち病	2000倍	100～ 400L/10a	摘採14日前 まで	3回以内	散布	3回以内		
非結球あぶ らな科葉菜 類	白さび病			収穫7日前 まで	2回以内		2回以内 (粒剤は1回 以内)		
エンダイブ	菌核病			収穫21日前 まで	1回		1回		
らっきょう	さび病			収穫3日前 まで	3回以内		3回以内		
パセリ	うどんこ病			収穫45日前 まで	1回		1回		
みつば	灰色かび病			収穫14日前 まで 但し、伏せ 込み栽培は 伏せ込み前 まで					
みょうが (花穂)	紋枯病			3L/m ²	収穫3日前 まで		2回以内	土壌灌注	3回以内(粒 剤は1回以 内)
みょうが (茎葉)					みょうが (花穂)の 収穫3日前 まで 但し、花穂 を収穫しな い場合に あつては開 花期終了 まで				
しそ	斑点病			100～ 300L/10a	収穫前日まで		4回以内	株元散布	2回以内
せり	葉枯病				収穫7日前 まで			散布	4回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数	
クレソン	斑点病	2000倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内	
だいこん	白さび病 ワッカ症			収穫14日前まで			3回以内 (粒剤は1回以内、但し粒剤を処理する場合には水和剤は1回以内)	
あずき いんげんまめ	炭疽病			60～200L/10a			収穫7日前まで	3回以内
葉ごぼう	うどんこ病		100～300L/10a	収穫21日前まで	1回		散布	1回
こおにたびらこ ははこぐさ	菌核病			収穫30日前まで				
ズッキーニ	うどんこ病			収穫前日まで	4回以内			4回以内 (粒剤は1回以内、但し粒剤を処理する場合には水和剤は2回以内)
ピーマン	灰色かび病							
オクラ	うどんこ病							
畑わさび	白さび病			収穫7日前まで	2回以内			2回以内
わさび				畑育苗期				
かぶ	白さび病 白斑病			収穫7日前まで				
さやいんげん	灰色かび病 菌核病			収穫前日まで	3回以内			3回以内
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病 菌核病 褐紋病							
えだまめ	べと病							
セルリー	斑点病		収穫3日前まで	4回以内	4回以内			
未成熟そらまめ	さび病	収穫7日前まで	3回以内	3回以内				
ばれいしょ	夏疫病	3000～4000倍	—	—	1回	瞬間種 いも浸漬 植溝内 土壌散布	5回以内 (種いもへの処理は1回以内、植付時の土壌散布は1回以内、散布は3回以内)	
	黒あざ病	500倍	—	植付前				
		100倍	20L/10a	植付時				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数
やまのいも	葉渋病 炭疽病	2000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
モロヘイヤ	灰色かび病				4回以内		4回以内
せんぶり	さび病			収穫7日前まで	3回以内		3回以内

② 10.0%アゾキシストロピンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数								
なし	黒星病 黒斑病 輪紋病	1000～ 1500倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内								
	うどんこ病 炭疽病	1000倍		収穫30日前まで				3回以内	3回以内						
ぶどう	黒とう病 灰色かび病 べと病 枝膨病 晩腐病 褐斑病 さび病				うどんこ病 炭疽病		収穫30日前まで			3回以内	3回以内				
	おうとう											灰星病 褐色せん孔病 炭疽病	うどんこ病 落葉病 炭疽病 黒点病	収穫7日前まで	3回以内
												もも			
ネクタリン	灰星病 黒星病				うどんこ病		収穫45日前まで			3回以内	3回以内				
パッションフルーツ	円斑病 疫病											うどんこ病	収穫45日前まで	3回以内	3回以内
かき	うどんこ病 落葉病 炭疽病 黒点病				うどんこ病		収穫45日前まで			3回以内	3回以内				
りんご (ふじ、王林、 ジョナゴールド、つがる、千 秋、さんさ、紅 玉、シナノスイ ート、昂林、涼 香の季節)	うどんこ病	うどんこ病	収穫45日前まで	3回以内		3回以内									

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の 総使用回数
いちじく	そうか病 疫病 さび病 黒葉枯病	1000倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
すもも	灰星病 すす点病			収穫7日 前まで			
びわ	炭疽病						
うめ	黒星病 すす斑病	1500倍		収穫前日 まで	1回		1回
マンゴー	炭疽病	1000倍		収穫7日 前まで	3回以内		3回以内
グアバ(果実)				収穫30日 前まで	2回以内		2回以内
オリーブ オリーブ(葉)				収穫前日 まで	3回以内		3回以内
ピタヤ	炭腐症						
バナナ	黒星病		収穫7日 前まで		3回以内		

③ 8.0%アゾキシストロピンプロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	1000～ 1500倍	100～ 200L/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布 は1回以内、 本田では3回 以内)
	稲こうじ病 穂枯れ (すじ葉枯病菌) 変色米 (カブツリア菌) 変色米 (エビコッカム菌) 変色米 (アルタリア菌)	1000倍					
	いもち病	8倍	800mL/10a				
		原液	120～ 150mL/10a			空中散布	
		30倍	3L/10a				
	300倍	25L/10a	散布				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の 総使用回数
稲	紋枯病	8倍	800mL/10a	収穫14日 前まで	3回以内	無人 ヘリコプターによる散布	4回以内 (育苗箱散布 は1回以内、 本田では3回 以内)
		原液	120～ 150mL/10a			空中散布	
		30倍	3L/10a				
		300倍	25L/10a			散布	

④ 1.5%アゾキシストロピン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	4kg/10a	出穂10～30日前	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以 内、本田では3回以内)

⑤ 0.6%アゾキシストロピン粉剤DL

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以 内、本田では3回以内)

⑥ 4.8%アゾキシストロピン・40.0%TPNフロアブル*

*有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値アゾキシストロピン5.1%、TPN40.0%製剤と同一製剤である。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アゾキシスト ロピンを 含む農薬の 総使用 回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000倍	100～ 400L/10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
かぼちゃ	うどんこ病 べと病 疫病			収穫7日 前まで	3回以内		

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アゾキシスト ロピンを含む 農薬の総使用 回数
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病 菌核病	1000 倍	100～ 400L/10 ^a	収穫3日 前まで	4回以内	散布	4回以内
すいか	炭疽病 つる枯病 うどんこ病 褐色腐敗病 菌核病						
トマト	疫病 葉かび病 炭疽病			収穫前日 まで	2回以内		2回以内
ミニトマト	灰色かび病 すすかび病 斑点病			収穫7日 前まで			
なす	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病 灰色かび病			収穫前日 まで	4回以内		4回以内
はくさい	べと病 白斑病 黒斑病 白さび病			収穫7日 前まで	2回以内		2回以内
にんじん	黒葉枯病 斑点病 菌核病			収穫21日 前まで			
たまねぎ	灰色かび病 べと病			収穫7日 前まで	4回以内		4回以内
ねぎ	べと病 さび病 黒斑病 黄斑病 葉枯病 小菌核腐敗病			収穫14日 前まで			
にんにく	さび病			収穫7日 前まで	3回以内		3回以内
だいこん	白さび病	収穫45日 前まで	3回以内 (粒剤は1回 以内、但し粒 剤を処理する 場合には水和 剤は1回以 内)				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数
ピーマン	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病 灰色かび病	1000倍	100～ 400L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (粒剤は1回以内、 但し粒剤を処理する 場合には水和剤は 2回以内)
にがうり	うどんこ病			収穫7日前まで			3回以内

⑦ 18.2%アゾキシストロピン・11.3%ジフェノコナゾールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数
てんさい	褐斑病	1000～2000倍	100～ 400L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	葉腐病	2000倍					

⑧ 2.0%アゾキシストロピン・1.0%メタラキシルM粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	18kg/10a	みょうが(花穂)の収穫30日前まで、但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで	1回	土壌表面散布	3回以内 (粒剤は1回以内)
みょうが (花穂)			収穫30日前まで	3回以内	定植前作条土壌混和又は生育期土壌表面散布	3回以内
しょうが						
ホップ	べと病	20g/株	株ごしらえ時～選芽期	1回	株元散布	1回
ピーマン	疫病	3g/株	収穫前日まで			4回以内 (粒剤は1回以内、但し粒剤を処理する場合には水和剤は2回以内)
とうがらし類						
こまつな	白さび病	9kg/10a	は種前 但し、 収穫21日前まで	1回	全面土壌混和	2回以内 (粒剤は1回以内)
タアサイ			定植時			
だいこん	白さび病	9kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	3回以内 (粒剤は1回以内、但し粒剤を処理する場合には水和剤は1回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
べにばな いんげん	茎根腐病	1g/株	定植時	1回	株元散布	1回
こんにゃく	根腐病	9kg/10a	植付時		植溝土壌混和	
	白絹病		培土期		株元散布	

(2) 海外での使用方法

80%アゾキシストロビン顆粒水和剤 (ブラジル)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
コーヒー	褐斑病 さび病	0.05kg/ha	収穫 21 日前まで	4回以内	散布
	葉腐病 さび病 <i>Phoma costarricensis</i>				土壌灌注

3. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

①分析対象の化合物

アゾキシストロビン

②分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム又はアセトニトリル/ヘキサン分配、フロリジルカラム及びシリカゲルカラムで精製した後、高速液体クロマトグラフ (UV) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出する。C18カラム及びグラファイトカーボンカラムで精製又は酢酸エチルに転溶し、フロリジルカラム、グラファイトカーボンカラム及びシリカゲルカラムで精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) で定量する。

定量限界 : 0.005~0.01 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2 を参照。

なお、海外で実施された収穫後使用に係る作物残留試験の結果の概要については別紙 1-3 を参照。

4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{註1)}及び生物濃縮係数 (BCF : Bioconcentration Factor) から、以

下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場合においても使用されることから、水田 PECTier2^{注2)} 及び非水田 PECTier1^{注3)} を算出したところ、水田 PECTier2 は 0.47ppb、非水田 PECTier1 は 0.0049ppb となったことから、水田 PECTier2 の 0.47ppb を採用した。

(2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール／水分配係数 ($\log_{10}Pow$) が 2.5 であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCF については実測値が得られていない。このため、 $\log_{10}Pow$ から、相関式 ($\log_{10}BCF = 0.80 \times \log_{10}Pow - 0.52$) を用いて 30 と算出された。

(3) 推定残留量

(1) 及び (2) の結果から、アゾキシストロビンの水産動植物被害予測濃度：0.47ppb、BCF：30 とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.47\text{ppb} \times (30 \times 5) = 70.5\text{ppb} = 0.0705\text{ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠。

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書)

5. 畜産物への推定残留量

(1) 動物飼養試験 (家畜残留試験)

① 乳牛における残留試験

乳牛に対してアゾキシストロビンが 0、5、25、75、250ppm 含有する飼料を 27～30 日間にわたり摂食させ、大腿部の内転筋、胸筋、肝臓、腎臓、腹腔内脂肪、皮下脂肪及び乳に含まれるアゾキシストロビン含量を測定した。

また、乳については、投与開始後 1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30、31 日目に搾乳したものを測定した (定量限界：乳 0.001 ppm、乳以外 0.01ppm)。結果については表 1 を参照。

表 1. 組織中の最大残留量 (ppm)

	5 ppm 投与群	25 ppm 投与群	75 ppm 投与群	250 ppm 投与群
大腿部内転筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
胸筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.01	0.05	0.07
腎臓	<0.01	<0.01	0.01	0.02
腹腔内脂肪	<0.01	<0.01	0.03	0.03
皮下脂肪	<0.01	<0.01	0.02	0.02
牛乳	0.003	0.006	0.004	0.009

②産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してアゾキシストロビンが0、6、18、60ppm含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓及び脂肪中のアゾキシストロビン含量を測定したところ最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。(定量限界:0.01ppm)。

また、鶏卵についても投与開始後1、3、7、10、14、18、21、25、28日に採卵し分析したところ、最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。(定量限界:0.01ppm)。

上記の結果に関連して、JMPRでは乳牛及び家禽における最大理論的飼料由来負荷(MTDB)はそれぞれ、72ppm及び22ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden: MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考: Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

5. ADI の評価

食品安全基本法 (平成 15 年法律第 48 号) 第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会にて意見を求めたアゾキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量 : 18.2mg/kg 体重/day (発がん性は認められなかった。)

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2年間

安全係数 : 100

ADI : 0.18 mg/kg 体重/day

6. 諸外国における状況

2011年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されている。国際基準はバナナ、ぶどう等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査

した結果、米国においてしょうが、えだまめ等に、カナダにおいてぶどう、なたね等に、EUにおいてえだまめ、ぶどう等に、オーストラリアにおいてアボカド、ぶどう等に、ニュージーランドにおいて小麦、ぶどう等に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

アゾキシストロビンとする。

海外の作物残留試験においてメチル(Z)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート（以下、「Z体」という。）が検出されており、米国等においてZ体も含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分がアゾキシストロビンの10%未満にとどまっていること及び国内の作物残留試験においてZ体について分析を行った試験（10試験）においては、いずれも定量限界未満（ $<0.01\text{ppm}$ ）であることから、Z体については規制対象として含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてアゾキシストロビン（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までアゾキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量(TMDI)）のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) 注)
国民平均	38.9
幼小児（1～6歳）	74.8
妊婦	30.0
高齢者（65歳以上）	40.5

注) TMDI試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

アゾキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱(箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日	圃場A:<0.01(#) ^{注2)} (4回, 39日)
					35, 39, 46日	圃場B:<0.01(#)(4回, 35日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱(箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日	圃場A:0.01(#)(4回, 14日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.02(#)(4回, 14日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日	圃場A:0.04(#)(4回, 13日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.02(#)(4回, 28日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.03(#)
						圃場B:0.04(#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:<0.01(#)
						圃場B:0.02(#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:0.02(#)(4回, 14日)
						圃場B:0.02(#)(4回, 21日)
小麦※ (種子)	1	20%フロアブル	原液・8mL/kg(種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布 100L/10a	2回	237日	圃場A:<0.01(#)
						5回
小麦※ (種子)	1	20%フロアブル	原液・8mL/kg(種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布 100L/10a	2回	208日	圃場A:0.01(#)
						5回
だいでず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.02(#)(3回, 7日)
						圃場B:0.01(#)(3回, 7日)
だいでず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.03(#)(2回, 7日)
						圃場B:0.05(#)(2回, 7日)
あずき (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 120L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01
						圃場B:0.01(3回, 14日)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01(#)(3回, 7日)
						圃場B:<0.01(#)(3回, 7日)
べいばな いんげん (乾燥種実)	2	2%粒剤	1g/株	1回	89, 96, 103日	圃場A:<0.1(1回, 89日)
						91, 98, 105日
ばれいしょ (塊茎)	2	20%フロアブル	500倍種いも浸漬 300倍散布 200~250L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:<0.003
						圃場B:<0.003
ばれいしょ (塊茎)	2	20%フロアブル	500倍種いも浸漬 100倍散布20L/10a 3000倍散布192~ 200L/10a	5回	3, 7, 14日	圃場A:0.02
						圃場B:<0.01
やまのいも (塊根)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:<0.01
						圃場B:<0.01
ごんぼく (球茎)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	123, 137, 151日	圃場A:0.008(1回, 137日)
						100, 114, 128日
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01
						圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	17%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	21, 28日	圃場A:<0.01
						圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a +500倍土壌灌注 1L/畝	1+3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01
						圃場B:0.01

農作物	試験圃 場数	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
だいこん (根部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.44 圃場B:0.14
だいこん (根部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	7-3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01(#)(4回, 14日) 圃場B:<0.01(#)(4回, 14日)
だいこん (葉部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	7-3回	7, 14, 21日	圃場A:4.62(#)(4回, 14日) 圃場B:1.21(#)(4回, 14日)
だいこん (つまみ菜)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.07
だいこん (間引き菜)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	20日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
かぶ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.36 圃場B:8.64
かぶ (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04(2回, 14日)
クレソン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A:<0.20 圃場B:0.26
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (吹付コーティング) +2000倍散布 300L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10(#)(5回, 7日)
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.06
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.08 圃場B:<0.01
こまつな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 214~400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.0 圃場B:9.2
こまつな (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a散布+ 2000倍散布200L/10a	7-2回	7, 14, 21日	圃場A:2.0(#)(3回, 7日) 圃場B:2.0(#)(3回, 7日)
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 265~391L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:8.5 圃場B:24.6
チンゲンサイ (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a散布+ 2000倍散布200L/10a	7-2回	3, 7, 14日	圃場A:6.4(#)(3回, 7日) 圃場B:1.4(#)(3回, 7日)
ブロッコリー (花蕾)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:2.8 圃場B:2.4
大山そだち (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.12 圃場B:5.34
サガミグリーン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.18 圃場B:4.12
しろな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.76 圃場B:3.32
タアサイ (葉部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	7-2回	3, 7, 14日	圃場A:1.6(#)(3回, 7日) 圃場B:4.7(#)(3回, 7日)
畑わさび (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:5.86 圃場B:11.8
畑わさび (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:0.82(2回, 14日) 圃場B:0.73
畑わさび (花及び花茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300~320L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:1.52 圃場B:7.16

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
エンダイブ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28, 35日	圃場A:<0.05 圃場B:1.18
しんじょう (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:12.1 圃場B:15.2
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:2.94(4回, 14日)
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 200~300L/10a	4回	7, 14日 7, 13日	圃場A:2.4 圃場B:2.5
サラダ菜 (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:14.0 圃場B:15.9
リーフレタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100~245L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:21.0 圃場B:5.0
葉ごぼう (植物体全体)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28日	圃場A:1.6 圃場B:2.2
ほとけのざ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.86 圃場B:1.29
ごぎょう (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 100~150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.36 圃場B:0.77
たまねぎ※ (鱗茎)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.02(＃)(4回, 1日) 圃場B:<0.01(＃)(4回, 1日)
根深ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.96 圃場B:0.20
葉ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.42(4回, 7日) 圃場B:1.20
にんにく (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	2回	14日	圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス※ (茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 6日	圃場A:0.83 圃場B:0.13
わけぎ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~400L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.1 圃場B:0.4
らっきょう (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.02(3回, 7日) 圃場B:0.02
にんじん※ (根部)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200~400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	1回	45, 60日	圃場A:0.05(1回, 60日) 圃場B:0.33
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル+ 2%粒剤	2000倍散布200L/10a+ 18kg/10a	13回	14, 21, 28日	圃場A:<1(＃)(4回, 28日) 圃場B:<1(＃)(4回, 28日)
みつば (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14, 21日	圃場A:1.6 圃場B:1.7
せり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日 7, 12, 20日	圃場A:0.7(4回, 14日) 圃場B:0.8
せり (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	3kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	12回	21, 28, 35日	圃場A:5.63(＃)(5回, 21日) 圃場B:2.51(＃)(5回, 21日)
トマト※ (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 8日	圃場A:0.40(＃)(4回, 1日) 圃場B:0.09(＃)(4回, 8日)
ミニトマト (果実)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.2 圃場B:0.1

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 1.18 圃場B: 1.28
ピーマン (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A: <0.1 圃場B: <0.1
なす (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.26 圃場B: 0.58
ししとう (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A: <0.1 (#) (4回, 1日) 圃場B: <0.1 (#) (4回, 1日)
甘長とうがらし (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 3, 7, 14日 3, 7, 14, 21, 28日	圃場A: <0.1 (#) (4回, 1日) 圃場B: <0.1 (#) (4回, 1日)
きゅうり※ (果実)	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	1回	.46日	圃場A: <0.01 (#)
				4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20 (#) (4回, 1日)
				5回		圃場A: 0.16 (#) (5回, 1日)
	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	1回	85日	圃場A: 0.01 (#)
				4回	1, 3, 7日	圃場B: 0.48 (#) (4回, 1日)
				5回		圃場A: 0.25 (#) (5回, 1日)
かぼちゃ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 293.3~300L/10a	4回	7, 14日	圃場A: 0.1 (#) (4回, 7日) 圃場B: <0.1 (#) (4回, 7日)
ズッキーニ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.2 圃場B: 0.2
すいか (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 168~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.01 (4回, 7日) 圃場B: <0.01
メロン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
にがうり (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7日	圃場A: 0.11 圃場B: 0.40
オクラ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 1.22 圃場B: 1.06
しょうが (塊茎)	2	2%粒剤	散布18kg/10a	3回	30, 40日	圃場A: 0.013 圃場B: 0.058
生姜が (根茎)	2	2%粒剤	散布18kg/10a	3回	14, 21, 28, 35日	圃場A: 0.03 (#) (3回, 21日) 圃場B: 0.16 (#) (3回, 14日)
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.28 (3回, 3日) 圃場B: 1.30
えだまめ (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 2.32 圃場B: 0.47 (3回, 3日)
せんぶり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 14.8 圃場B: 3.65 (3回, 14日)
オリーブ (葉)	2	10%フロアブル	1000倍散布 322~500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 8.75 (#) (2回, 28日) 圃場B: 7.16 (#) (2回, 28日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	42日	圃場A: 0.98 (#) 圃場B: 0.14 (#)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	14, 28, 42日	圃場A: 0.60 (5回, 14日) 圃場B: 0.36 (5回, 14日)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A: 0.68 圃場B: 0.35

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
びわ※ (果実)	1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回 3回	7, 14, 21日	圃場A:0.014 圃場A:0.017
	1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回		圃場A:0.008
もも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
ネクタリン※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.5(3回, 3日)
					1, 3, 7日	圃場B:1.4
すもも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300~400L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.09
うめ (果実)	2	10%フロアブル	1500倍散布 250~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.6(3回, 7日) 圃場B:0.7
おうとう※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.30(3回, 3日) 圃場B:0.47
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a +1000倍土壌灌注 100mL/株	5回	89日	圃場A:0.11(#)
				8回	1, 3, 7日	圃場A:1.20(#)(8回, 1日)
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a	5回	217日	圃場A:0.03(#)
				8回	1, 4, 8日	圃場A:1.18(#)(8回, 1日)
ぶどう※ (果実)	2	10%フロアブル	100倍休眠期散布 300~ 500L/10a+1000倍散布 500L/10a	4回	45, 60, 75日	圃場A:4.22(#)(4回, 45日)
					45, 59, 75日	圃場B:1.68(#)(4回, 45日)
かき※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300, 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05 圃場B:0.36
						圃場A:1.33 圃場B:0.72
バナナ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.03(3回, 14日) 圃場B:0.08
						圃場A:0.5 圃場B:0.4
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:0.5 圃場B:0.4
パッション フルーツ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.33 圃場B:0.30
						圃場A:0.25 圃場B:0.58
いちじく (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 230~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.25 圃場B:0.58
ピタヤ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 188~200L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:1.42 圃場B:0.37(3回, 14日)
オリーブ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 333~500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:1.16(#)(2回, 28日) 圃場B:0.41(#)(2回, 28日)
						圃場A:4.75 圃場B:2.62 圃場C:0.80 圃場D:3.46
茶※ (荒茶)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:2.50 圃場B:1.34 圃場C:0.42 圃場D:1.28
茶 (浸出液)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:2.50 圃場B:1.34 圃場C:0.42 圃場D:1.28
ホップ (花)	2	2%粒剤	20g/株	1回	0, 10, 20日	圃場A:<1(1回, 0日) 圃場B:<1(1回, 0日)
あさつき (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.5 圃場B:0.8

農作物	試験圃場数	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
シソ (葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.10 圃場B: 0.04
みょうが (花穂)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A: 0.50 (#) (4回, 3日) 圃場B: 0.34 (#) (4回, 3日)
みょうが (花穂)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	散布18kg/10a +2000倍土壌灌注 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A: 2.2 圃場B: 1.0
キロベイチ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A: 12.8 (#)
またよねさ (葉および花)	2	20%フロアブル	2000倍 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: 2.19 圃場B: 1.11
ゼルリー (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍 200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A: 9.36 圃場B: 6.1
さざいんげん (さや)	2	20%フロアブル	2000倍 150, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.77 圃場B: 1.12
未成熟そらまめ (豆)	2	20%フロアブル	2000倍 250, 286L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: 0.01 圃場B: 0.02
くわい (塊茎)	2	2%粒剤	3kg/10a	2回	21, 28, 35日	圃場A: <1.0 圃場B: 0.04
はないら (花茎)	2	20%フロアブル	2000倍 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 1.26 圃場B: 1.94

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

(※) 印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

アゾキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (粳米)	7	80%顆粒水和剤	224g ai/ha 散布 +336g ai/ha 散布	2+1回	28日	圃場A:0.30 圃場B:2.7 圃場C:2.2 圃場D:0.41 圃場E:0.19 圃場F:0.27 圃場G:0.82
小麦 (穀粒)	5	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	40日 48日 48日 48日 39日	圃場A:0.01 圃場B:0.03 圃場C:0.02 圃場D:0.02 圃場E:0.03
大麦 (穀粒)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	38日 53日 55日	圃場A:0.23 圃場B:0.14 圃場C:0.07
とうもろこし (穀粒)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	8回	7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01
大豆 (種子)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	14日 15日 14日 16日 14日 14日 14日	圃場A:0.04 圃場B:0.12 圃場C:0.12 圃場D:0.07 圃場E:0.06 圃場F:0.06 圃場G:0.02
らっかせい (種子)	9	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	2回	14日 14日 14日 14日 14日 20日 14日 14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.12 圃場E:0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:0.06 圃場I:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	1500g ai/ha 土壌混和	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	750g ai/ha 畝間散布	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.02 圃場C:0.01 圃場D:0.03
ばれいしょ (根茎)	14	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:0.02 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01 圃場M:<0.01 圃場N:<0.01